

# 消せぬ差別の記憶

差別を受けた体験を語る女性

大隅地方



## ハンセン病補償法成立

冷たいまなざしを恐れ、強制隔離された身内の病歴を隠しながら生きてきた。ハンセン病患者の家族を対象とした補償法が成立した15日、家族らはつらかった日々を振り返った。だが、断ち切られた絆を修復し、偏見を根絶するのは容易ではない。「無知は差別の始まり。正しい知識を」と訴える家族。真の解決に向けた国の啓蒙の在り方が問われる。  
(1面参照)

## 対象拡大で希望の光

### 「正しい情報を」家族訴え

「今まで、祖母のことは誰にも言えなかった。大隅地方に住む80代女性はこれまでの苦しかった日々を語った。祖母はハンセン病患者。同居していた女性は幼い時、それを理由にいじめられた。元患者家族への補償法が成立したのを受け、「自分も対象になるだろう」と希望を抱いている。

「5歳ぐらいの時だった。同居していた祖母が突然いなくなった。父親に理由を聞くと、「なんで行ったのか、知らん」と答えた。小学校に入ると、同級生に「病気がうつる」とのしられ、遠ざけられた。両親には「おばあちゃんは、他人がかからない病気で連れて行かれた。お前もかわいそうだけと仕方ない」と諭された。

祖母は鹿屋市の国立療養所「星塚敬愛園」に入所していた。小学

「校卒業前のある日、父親が祖母の遺骨を持ち帰ったのを覚えていた。いじめは中学校でも続き、学校に行けない日もあった。「いじめられた記憶は心にずっと残っていると話す。5人きょうだいの末っ子。祖母について話すことのできた兄たち

だが、10月に入り、補償法案の対象が親子や配偶者らに加え、同

は、7年前までに他界した。「夫には話せなかった。一人ぼっちになったと感じた」元患者家族が2016年に裁判を起こしたと聞いていたが、「自ら原告になる勇氣はなかった」。訴訟が進んでいることを知っても、「自分は孫だし、国から補償してもらえ」とは思っていない。

大人になって、ハンセン病は感染力が極めて弱いと知った。うれしかった。一方で「それなら、なぜ私たちはつらい思いをしてきたのか」と悲しみが募った。「国にはしっかりと

居していた孫らにも拡大きな方針であることが知った。「自分も含まれるのか。びっくりしたと同時に悔しさも感じた。「兄たちが生きていこうちに国が謝罪し、補償が決まっていたら」

と正しい情報を伝えてほしい。そして、誰もが差別やいじめの対象とならないような社会になってほしい」と願う。



むずかしい漢字とことば

恐(おそ)れ 隔離(かくり)＝へだてて別(わか)れること。とくに感染症(かんせんしょう＝ウイルスや細菌(さいきん)＝などが体内(体内)に入り増えたために生じた病気)にかかった人を、ほかの人からはなしておくこと 隠(かく)し患者(かんじゃ) 補償(ほしょう)＝損害(損害)に対して、お金(金)や品物(品物)でつぐなうこと 振(ふ)り返(かえ)った 絆(きずな) 偏見(へんけん)＝かたよった見方(見方)や考え方(考え方) 根絶(こんぜつ)＝すっかりなくすこと。根絶(根絶)やし 訴(う)ったえる 啓発(けいはつ)＝気づいていないことを教え、みちびくこと 誰(だれ) 幼(おさな)い 抱(いだ)いて 歳(さい) 突然(とつぜん) 諭(さと)された 療養(りょうよう)＝病気を治すために治療(治療)をしたり体(体)を休めたりすること 遺骨(いこつ) 記憶(きおく) 裁判(さいばん) 訴訟(そしょう)＝争(争)いを解決(解決)するために、裁判所(裁判所)に対して裁判(裁判)を請求(請求)すること。また、その手続き(手続き) 配偶者(はいごうしゃ)＝妻(妻)が夫(夫)を、夫(夫)を妻(妻)をさしている言葉(言葉) 拡大(かくだい) 方針(ほうしん) 含(ふ)まれる 悔(く)やしき 感染(かんせん) 私(わたし) 募(つ)のつた

【問1】何という補償法が成立されましたか。

( ) 補償法

【問2】差別に苦しんだ家族は、どんなことを訴えていますか。

( ) は差別の始まり。( ) 知識を

【問3】ハンセン病に対するの誤った情報によって、元患者や元患者の家族は差別を受けて、長年苦しんできました。そのことについて、あなたはどのように思いますか。また、今回の家族の訴えの記事を読んで、どのような感想をもちましたか。また、このことについて友達と話し合ってみましょう。

【問1】何という補償法が成立されましたか。

( **ハンセン病家族** ) 補償法

【問2】差別に苦しんだ家族は、どんなことを訴えていますか。

( **無知** ) は差別の始まり。( **正しい** ) 知識を

【問3】ハンセン病に対しての誤った情報によって、元患者や元患者の家族は差別を受けて、長年苦しんできました。そのことについて、あなたはどのように思いますか。また、今回の家族の訴えの記事を読んで、どのような感想をもちましたか。また、このことについて友達と話し合ってみましょう。